

様式第2号の1—②

【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	大村美容ファッション専門学校
設置者名	学校法人 大村文化学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配 置 困 難
美容専門課程	美容科 (ヘアスタイルリストコース)	夜・通信	390 時間	160 時間	
	美容科 (トータルビューティーコース)	夜・通信	390 時間	160 時間	
	美容科 (カラーリストコース)	夜・通信	390 時間	160 時間	
	トップスタイルリスト科	夜・通信	360 時間	160 時間	
	トップスタイルリスト専攻科	夜・通信	120 時間	80 時間	
	ヘアメイクアップアーティスト科	夜・通信	300 時間	240 時間	
メイクアップ専門課程	メイクアップ科	夜・通信	300 時間	160 時間	
ファッション専門課程	ファッション科	夜・通信	180 時間	160 時間	
	ファッションクリエイター科	夜・通信	240 時間	240 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://omula.com/about/information.html>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名

(困難である理由)

様式第2号の2-①

【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※設置者が学校法人又は準学校法人の場合のみ

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大村美容ファッション専門学校
設置者名	学校法人 大村文化学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://omula.com/about/information.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	(株)ダリア 代表取締役	2025. 4. 1 ～ 2029. 3. 31	運営体制へのチェック 経営計画等に対する、 学外者ならではの意見 や指摘
非常勤	吉次商事(株) 代表取締役	2025. 4. 1 ～ 2029. 3. 31	運営体制へのチェック 経営計画等に対する、 学外者ならではの意見 や指摘
(備考)			

様式第2号の3

【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大村美容ファッション専門学校
設置者名	学校法人 大村文化学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

授業計画書（シラバス）の作成過程

①前年度

教科担当教員が授業の改善点を学科長、教務主任に提案

授業評価委員会（校長、学科長、代表学生）にて各科目の改善案を討議

各々からの提案等を踏まえ、学科長が次年度の授業計画を検討

②前年度の12月までに

学科長が学科の全体科目と学科到達目標を設定し、校長が決済

③前年度の1月までに

教務主任が科目ごとの到達目標を設定し、学科長が決済

④前年度の2月までに

科目担当教員が到達目標に応じてコマシラバスを作成

※科目的設定、授業内容の設定等については、教育課程編成委員会にて委員からの意見を反映させて決定をしている

授業計画書（シラバス）の公表

①入学後すぐに、学生へ「学生便覧カリキュラム編」の冊子を配布

②4月上旬に、授業計画書（シラバス）を学校ホームページに公開

授業計画書の公表方法 <https://omula.com/about/information.html>

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

- ・年度当初に定めたシラバスに記載されている評価方法に基づいて、授業科目ごとに成績評価をしています
- ・教科担当教員がおこなった評価を基にして、教科担当教員、教務主任、学科長により成績評価をしています
- ・同じ授業科目を複数の教員が担当する場合は、教科担当教員が集まって協議をして成績評価をしています
- ・成績評価は学期ごとにおこなわれ、成績評価ができない学生には補講、補習、レポート課題などを課しています
- ・成績評価は学期ごとに成績表、履修記録に書面化し、学生本人には手渡し、保護者には郵送しています
- ・試験結果、提出課題、実習の成果、出席率など、授業科目ごとにシラバスに記載されている内容と割合により、総合的に勘案して評価をしています
- ・授業科目ごとの出席時数が授業時数の3分の2（実習科目については5分の4）に達しない者は、その科目について評価を受けることはできません
- ・授業科目ごとに、5段階（S, A, B, C, D）で評価をしています
- ・規定の時間数以上を出席し、試験等により合格（C以上）と認められた授業科目について、履修を認定しています

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

- ・教科科目ごとの成績に応じてグレードポイント（G P）を付与して、G P A制度により、学生ごとの学習成果を総合的に数値化し、学内・学科内での成績を客観的に把握しています
- ・授業科目ごとの5段階評価の点数に対して、以下のG Pを付与しています
S…4点、A…3点、B…2点、C…1点、D…0点
- ・付与されたG Pにより、以下の計算方法で学生の学習成果を数値化しています
 - (1) 科目ごとの数値を算出する
【その科目に付与されたG P × その科目の授業時間数】…※①
 - (2) すべての科目の※①の数値を合計して、全科目の合計値を算出する…※②
 - (3) ※②の数値を、履修した授業科目の総授業時間数で割る

客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://omula.com/about/information.html
	4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ディプロマポリシー <p>「一に人格、二に技術」の教育理念に基づき、自らを自らで磨き成長する自己マネジメント力を保有し、お客様に信頼される人格と教養を身に着けると共に、美容、ファッション分野の専門職として必要な知識、技術を有している。 そして業界を牽引するリーダーシップを身に付けている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人間関係の基本である他者への尊敬、公正、親切、礼儀に基づく行動ができる 2. 組織やチーム内での円滑なコミュニケーションを測りリーダーシップを発揮できる 3. 専門業界の発展に柔軟に対応できるスキルとマーケティング力を有している。 4. 専門業界の発展のために自ら主体的に発言、行動できる積極性を身に着けている 5. 目標達成意欲を強く持ち自己の力を信じ全力で挑むチャレンジ精神を有している ・授業科目の成績評価に基づいて、以下の基準により課程修了の認定を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ①学則で定める必要な時間数を履修していること ②教科科目の区分ごとに、その教科科目の3分の2以上（実習を伴う教科科目は5分の4以上）出席していること ③学期末試験において、すべての科目が60点以上であること <p>ただし、試験による評価が困難な一部の科目については履修認定の規定に沿う</p> ・所定の修業年限以上在学し、課程を修了したと認めた者には、卒業証書を授与する。 ・課程修了の認定は学校長がおこなう。 	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	

様式第2号の4－②

【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※様式第2号の4（別紙）も併せて綴じること（令和6年度新規確認校を除く）。

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	大村美容ファッション専門学校
設置者名	学校法人 大村文化学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://omula.com/about/information.html
収支計算書又は損益計算書	https://omula.com/about/information.html
財産目録	https://omula.com/about/information.html
事業報告書	https://omula.com/about/information.html
監事による監査報告（書）	https://omula.com/about/information.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士			
衛生		美容専門課程	美容科（ヘアスタイル リストコース）	○				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		開設している授業の種類				
				講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,010 単位時間		630 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	1,380 単位時間
		2,010 単位時間						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
240人の内数		85人	0人	16人の内数	1人の内数	17人の内数		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） (概要)
授業計画書（シラバス）の作成過程
①前年度 教科担当教員が授業の改善点を学科長、教務主任に提案 授業評価委員会（校長、学科長、代表学生）にて各科目の改善案を討議 各々からの提案等を踏まえ、学科長が次年度の授業計画を検討
②前年度の12月までに 学科長が学科の全体科目と学科到達目標を設定し、校長が決済 ③前年度の1月までに 教務主任が科目ごとの到達目標を設定し、学科長が決済 ④前年度の2月までに 科目担当教員が到達目標に応じてコマシラバスを作成 ※科目の設定、授業内容の設定等については、教育課程編成委員会にて委員からの意見を反映させて決定をしている
授業計画書（シラバス）の公表

- | |
|--|
| ①入学後すぐに、学生へ「学生便覧カリキュラム編」の冊子を配布
②4月上旬に、授業計画書（シラバス）を学校ホームページに公開 |
|--|

成績評価の基準・方法

(概要)

- ・年度当初に定めたシラバスに記載されている評価方法に基づいて、授業科目ごとに成績評価をしています
- ・教科担当教員がおこなった評価を基にして、教科担当教員、教務主任、学科長により成績評価をしています
- ・同じ授業科目を複数の教員が担当する場合は、教科担当教員が集まって協議をして成績評価をしています
- ・成績評価は学期ごとにおこなわれ、成績評価ができない学生には補講、補習、レポート課題などを課しています
- ・成績評価は学期ごとに成績表、履修記録に書面化し、学生本人には手渡し、保護者には郵送しています
- ・試験結果、提出課題、実習の成果、出席率など、授業科目ごとにシラバスに記載されている内容と割合により、総合的に勘案して評価をしています
- ・授業科目ごとの出席時数が授業時数の3分の2（実習科目については5分の4）に達しない者は、その科目について評価を受けることはできません
- ・授業科目ごとに、5段階（S, A, B, C, D）で評価をしています
- ・規定の時間数以上を出席し、試験等により合格（C以上）と認められた授業科目について、履修を認定しています

卒業・進級の認定基準

(概要)

・ディプロマポリシー

「一に人格、二に技術」の教育理念に基づき、自らを自らで磨き成長する自己マネジメント力を保有し、お客様に信頼される人格と教養を身に着けると共に、美容、ファッション分野の専門職として必要な知識、技術を有している。

そして業界を牽引するリーダーシップを身に付けています。

1. 人間関係の基本である他者への尊敬、公正、親切、礼儀に基づく行動ができる
2. 組織やチーム内での円滑なコミュニケーションを測りリーダーシップを発揮できる
3. 専門業界の発展に柔軟に対応できるスキルとマーケティング力を有している
4. 専門業界の発展のために自ら主体的に発言、行動できる積極性を身に着けている
5. 目標達成意欲を強く持ち自己の力を信じ全力で挑むチャレンジ精神を有している

・授業科目の成績評価に基づいて、以下の基準により課程修了の認定を行う。

- ①学則で定める必要な時間数を履修していること
- ②教科科目の区分ごとに、その教科科目の3分の2以上（実習を伴う教科科目は5分の4以上）出席していること
- ③学期末試験において、すべての科目が60点以上であること
ただし、試験による評価が困難な一部の科目については履修認定の規定に沿う

・所定の修業年限以上在学し、課程を修了したと認めた者には、卒業証書を授与する。

・課程修了の認定は校長がおこなう。

学修支援等

(概要)

- ・クラス担任制により、学生に対してきめ細かなフォローやアドバイスをおこなっている
- ・朝練習、放課後練習、補講などの実施により、進捗度の低い学生に対してのフォローアクション体制を整えている
- ・就職支援の専任職員により、在学中の就職活動や卒業後の進路相談などへの学生のフォローアクション体制を整えている
- ・専門の学生カウンセラーと契約を交わして配置しており、様々な悩みを抱えている学生に対してのフォローアクション体制を整えている
- ・キャリアデザイン教育の授業を実施して、自分の生き方を見つめ、選択して行動する自己教育力の向上をおこなっている

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
21人 (100%)	0人 (0%)	20人 (95.2%)	1人 (4.7%)
(主な就職、業界等)			
美容師 ヘアメイクアップアーティスト カラーリスト ネイリスト アイリスト			
(就職指導内容)			
学外で開催される就職ガイダンスなどへの参加の促進 就職先企業を学校に招いて、就職説明会の開催 担任教員による学生との面談、就職指導やアドバイス等 就職担当職員による学生との面談、面接指導等			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
美容師免許（国家試験受験資格） ネイル技能検定 松風公認インストラクター ボディィジュエリー テクニカリスト ヘアカラーマイスター			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
215人	11人	5.1%
(中途退学の主な理由)		
進路変更、病気、経済的理由、学校生活不適応		

(中退防止・中退者支援のための取組)

日頃からの気配りや声掛けなどの強化
早めの気付きによる個別面談等の対処
休みが続く学生には、教員が家まで迎えに行く

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士			
衛生		美容専門課程	美容科（トータルビューティーコース）	○				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		開設している授業の種類				
				講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,010 単位時間	630 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	1,380 単位時間	2,010 単位時間
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
240 人の内数		63 人	0 人	16 人の内数	1 人の内数	17 人の内数		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

(概要)

授業計画書（シラバス）の作成過程

①前年度

教科担当教員が授業の改善点を学科長、教務主任に提案
授業評価委員会（校長、学科長、代表学生）にて各科目の改善案を討議
各自からの提案等を踏まえ、学科長が次年度の授業計画を検討

②前年度の12月までに

学科長が学科の全体科目と学科到達目標を設定し、校長が決済

③前年度の1月までに

教務主任が科目ごとの到達目標を設定し、学科長が決済

④前年度の2月までに

科目担当教員が到達目標に応じてコマシラバスを作成

※科目の設定、授業内容の設定等については、教育課程編成委員会にて委員からの意見を反映させて決定をしている

授業計画書（シラバス）の公表

①入学後すぐに、学生へ「学生便覧カリキュラム編」の冊子を配布

②4月上旬に、授業計画書（シラバス）を学校ホームページに公開

成績評価の基準・方法

(概要)

・年度当初に定めたシラバスに記載されている評価方法に基づいて、授業科目ごとに成績評価をしています

- ・教科担当教員がおこなった評価を基にして、教科担当教員、教務主任、学科長により成績評価をしています
- ・同じ授業科目を複数の教員が担当する場合は、教科担当教員が集まって協議をして成績評価をしています
- ・成績評価は学期ごとにおこなわれ、成績評価ができない学生には補講、補習、レポート課題などを課しています
- ・成績評価は学期ごとに成績表、履修記録に書面化し、学生本人には手渡し、保護者には郵送しています
- ・試験結果、提出課題、実習の成果、出席率など、授業科目ごとにシラバスに記載されている内容と割合により、総合的に勘案して評価をしています
- ・授業科目ごとの出席時数が授業時数の3分の2（実習科目については5分の4）に達しない者は、その科目について評価を受けることはできません
- ・授業科目ごとに、5段階（S, A, B, C, D）で評価をしています
- ・規定の時間数以上を出席し、試験等により合格（C以上）と認められた授業科目について、履修を認定しています

卒業・進級の認定基準

(概要)

・ディプロマポリシー

「一に人格、二に技術」の教育理念に基づき、自らを自らで磨き成長する自己マネジメント力を保有し、お客様に信頼される人格と教養を身に着けると共に、美容、ファッション分野の専門職として必要な知識、技術を有している。

そして業界を牽引するリーダーシップを身に付けています。

1. 人間関係の基本である他者への尊敬、公正、親切、礼儀に基づく行動ができる
2. 組織やチーム内での円滑なコミュニケーションを測りリーダーシップを発揮できる
3. 専門業界の発展に柔軟に対応できるスキルとマーケティング力を有している
4. 専門業界の発展のために自ら主体的に発言、行動できる積極性を身に着けている
5. 目標達成意欲を強く持ち自己の力を信じ全力で挑むチャレンジ精神を有している

・授業科目の成績評価に基づいて、以下の基準により課程修了の認定を行う。

①学則で定める必要な時間数を履修していること

②教科科目の区分ごとに、その教科科目の3分の2以上（実習を伴う教科科目は5分の4以上）出席していること

③学期末試験において、すべての科目が60点以上であること

ただし、試験による評価が困難な一部の科目については履修認定の規定に沿う

・所定の修業年限以上在学し、課程を修了したと認めた者には、卒業証書を授与する。

・課程修了の認定は校長がおこなう。

学修支援等

(概要)

・クラス担任制により、学生に対してきめ細かなフォローやアドバイスをおこなっている

・朝練習、放課後練習、補講などの実施により、進捗度の低い学生に対してのフォローオン体制を整えている

・就職支援の専任職員により、在学中の就職活動や卒業後の進路相談などへの学生のフォローオン体制を整えている

・専門の学生カウンセラーと契約を交わして配置しており、様々な悩みを抱えている学生に対してのフォローオン体制を整えている

・キャリアデザイン教育の授業を実施して、自分の生き方を見つめ、選択して行動する自己教育力の向上をおこなっている

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
40人 (100%)	1人 (2.5%)	38人 (95.0%)	1人 (2.5%)
(主な就職、業界等)			
美容師 ヘアメイクアップアーティスト カラリスト ネイリスト アイリスト			
(就職指導内容)			
学外で開催される就職ガイダンスなどへの参加の促進 就職先企業を学校に招いて、就職説明会の開催 担任教員による学生との面談、就職指導やアドバイス等 就職担当職員による学生との面談、面接指導等			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
美容師免許（国家試験受験資格） ネイル技能検定 松風公認インストラクター ボディィジュエリー テクニカリリスト ヘアカラーマイスター			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
215人	11人	5.1%
(中途退学の主な理由)		
進路変更、病気、経済的理由、学校生活不適応		

(中退防止・中退者支援のための取組)

日頃からの気配りや声掛けなどの強化
早めの気付きによる個別面談等の対処
休みが続く学生には、教員が家まで迎えに行く

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士		
衛生		美容専門課程	美容科（カラーリストコース）		○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		開設している授業の種類				
				講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,010 単位時間		630 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	1,380 単位時間
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
240人の内数		78人	0人	16人の内数	1人の内数	17人の内数		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

(概要)

授業計画書（シラバス）の作成過程

①前年度

教科担当教員が授業の改善点を学科長、教務主任に提案

授業評価委員会（校長、学科長、代表学生）にて各科目の改善案を討議

各々からの提案等を踏まえ、学科長が次年度の授業計画を検討

②前年度の12月までに

学科長が学科の全体科目と学科到達目標を設定し、校長が決済

③前年度の1月までに

教務主任が科目ごとの到達目標を設定し、学科長が決済

④前年度の2月までに

科目担当教員が到達目標に応じてコマシラバスを作成

※科目的設定、授業内容の設定等については、教育課程編成委員会にて委員からの意見を反映させて決定をしている

授業計画書（シラバス）の公表

①入学後すぐに、学生へ「学生便覧カリキュラム編」の冊子を配布

②4月上旬に、授業計画書（シラバス）を学校ホームページに公開

成績評価の基準・方法

(概要)

- ・年度当初に定めたシラバスに記載されている評価方法に基づいて、授業科目ごとに成績評価をしています
- ・教科担当教員がおこなった評価を基にして、教科担当教員、教務主任、学科長により成績評価をしています
- ・同じ授業科目を複数の教員が担当する場合は、教科担当教員が集まって協議をして成績評価をしています
- ・成績評価は学期ごとにおこなわれ、成績評価ができない学生には補講、補習、レポート課題などを課しています
- ・成績評価は学期ごとに成績表、履修記録に書面化し、学生本人には手渡し、保護者には郵送しています
- ・試験結果、提出課題、実習の成果、出席率など、授業科目ごとにシラバスに記載されている内容と割合により、総合的に勘案して評価をしています
- ・授業科目ごとの出席時数が授業時数の3分の2（実習科目については5分の4）に達しない者は、その科目について評価を受けることはできません
- ・授業科目ごとに、5段階（S, A, B, C, D）で評価をしています
- ・規定の時間数以上を出席し、試験等により合格（C以上）と認められた授業科目について、履修を認定しています

卒業・進級の認定基準

(概要)

- ・ディプロマポリシー
「一に人格、二に技術」の教育理念に基づき、自らを自らで磨き成長する自己マネジメント力を保有し、お客様に信頼される人格と教養を身に着けると共に、美容、ファッショング分野の専門職として必要な知識、技術を有している。
そして業界を牽引するリーダーシップを身に付けています。
 1. 人間関係の基本である他者への尊敬、公正、親切、礼儀に基づく行動ができる
 2. 組織やチーム内での円滑なコミュニケーションを測りリーダーシップを發揮できる
 3. 専門業界の発展に柔軟に対応できるスキルとマーケティング力を有している
 4. 専門業界の発展のために自ら主体的に発言、行動できる積極性を身に着けている
 5. 目標達成意欲を強く持ち自己の力を信じ全力で挑むチャレンジ精神を有している
- ・授業科目の成績評価に基づいて、以下の基準により課程修了の認定を行う。

- ①学則で定める必要な時間数を履修していること
 - ②教科科目の区分ごとに、その教科科目の3分の2以上（実習を伴う教科科目は5分の4以上）出席していること
 - ③学期末試験において、すべての科目が60点以上であること
ただし、試験による評価が困難な一部の科目については履修認定の規定に沿う

- ・所定の修業年限以上在学し、課程を修了したと認めた者には、卒業証書を授与する。
 - ・課程修了の認定は学校長がおこなう。

学修支援等

(概要)

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
35人 (100%)	0人 (0%)	34人 (97.1%)	1人 (2.8%)

(主な就職、業界等)

美容師

ヘアメイクアップアーティスト

カラーリスト

ネイリスト

アイリスト

(就職指導内容)
学外で開催される就職ガイダンスなどへの参加の促進 就職先企業を学校に招いて、就職説明会の開催 担任教員による学生との面談、就職指導やアドバイス等 就職担当職員による学生との面談、面接指導等
(主な学修成果（資格・検定等）)
美容師免許（国家試験受験資格） ネイル技能検定 松風公認インストラクター ボディィジュエリー テクニカリリスト ヘアカラーマイスター

中途退学の現状					
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率			
215人	11人	5.1%			
(中途退学の主な理由)					
進路変更、病気、経済的理由、学校生活不適応					
(中退防止・中退者支援のための取組)					
日頃からの気配りや声掛けなどの強化 早めの気付きによる個別面談等の対処 休みが続く学生には、教員が家まで迎えに行く					

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		美容専門課程	トップスタイリスト科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,010 単位時間	600 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	1,410 単位時間
				2,010 単位時間			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		52人	0人	16人	5人	21人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

(概要)

授業計画書（シラバス）の作成過程

①前年度

教科担当教員が授業の改善点を学科長、教務主任に提案

授業評価委員会（校長、学科長、代表学生）にて各科目の改善案を討議

各自からの提案等を踏まえ、学科長が次年度の授業計画を検討

②前年度の12月までに

学科長が学科の全体科目と学科到達目標を設定し、校長が決済

③前年度の1月までに

教務主任が科目ごとの到達目標を設定し、学科長が決済

④前年度の2月までに

教科担当教員が到達目標に応じてコマシラバスを作成

※科目の設定、授業内容の設定等については、教育課程編成委員会にて委員からの意見を反映させて決定をしている

授業計画書（シラバス）の公表

①入学後すぐに、学生へ「学生便覧カリキュラム編」の冊子を配布

②4月上旬に、授業計画書（シラバス）を学校ホームページに公開

成績評価の基準・方法

(概要)

- ・年度当初に定めたシラバスに記載されている評価方法に基づいて、授業科目ごとに成績評価をしています
- ・教科担当教員がおこなった評価を基にして、教科担当教員、教務主任、学科長により成績評価をしています
- ・同じ授業科目を複数の教員が担当する場合は、教科担当教員が集まって協議をして成績評価をしています
- ・成績評価は学期ごとにおこなわれ、成績評価ができない学生には補講、補習、レポート課題などを課しています
- ・成績評価は学期ごとに成績表、履修記録に書面化し、学生本人には手渡し、保護者には郵送しています
- ・試験結果、提出課題、実習の成果、出席率など、授業科目ごとにシラバスに記載されている内容と割合により、総合的に勘案して評価をしています
- ・授業科目ごとの出席時数が授業時数の3分の2（実習科目については5分の4）に達しない者は、その科目について評価を受けることはできません
- ・授業科目ごとに、5段階（S, A, B, C, D）で評価をしています

- ・規定の時間数以上を出席し、試験等により合格（C以上）と認められた授業科目について、履修を認定しています

卒業・進級の認定基準

(概要)

- ・ディプロマポリシー

「一に人格、二に技術」の教育理念に基づき、自らを自らで磨き成長する自己マネジメント力を保有し、お客様に信頼される人格と教養を身に着けると共に、美容、ファッション分野の専門職として必要な知識、技術を有している。

そして業界を牽引するリーダーシップを身に付けています。

1. 人間関係の基本である他者への尊敬、公正、親切、礼儀に基づく行動ができる
2. 組織やチーム内での円滑なコミュニケーションを測りリーダーシップを發揮できる
3. 専門業界の発展に柔軟に対応できるスキルとマーケティング力を有している
4. 専門業界の発展のために自ら主体的に発言、行動できる積極性を身に着けている
5. 目標達成意欲を強く持ち自己の力を信じ全力で挑むチャレンジ精神を有している

- ・授業科目の成績評価に基づいて、以下の基準により課程修了の認定を行う。

①学則で定める必要な時間数を履修していること

②教科科目の区分ごとに、その教科科目の3分の2以上（実習を伴う教科科目は5分の4以上）出席していること

③学期末試験において、すべての科目が60点以上であること

ただし、試験による評価が困難な一部の科目については履修認定の規定に沿う

- ・所定の修業年限以上在学し、課程を修了したと認めた者には、卒業証書を授与する。

- ・課程修了の認定は校長がおこなう。

学修支援等

(概要)

- ・クラス担任制により、学生に対してきめ細かなフォローやアドバイスをおこなっている

- ・朝練習、放課後練習、補講などの実施により、進捗度の低い学生に対してのフォローアクション体制を整えている

- ・就職支援の専任職員により、在学中の就職活動や卒業後の進路相談などへの学生のフォローアクション体制を整えている

- ・専門の学生カウンセラーと契約を交わして配置しており、様々な悩みを抱えてい

る学生に対してのフォローワーク体制を整えている

- ・キャリアデザイン教育の授業を実施して、自分の生き方を見つめ、選択して行動する自己教育力の向上をおこなっている

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
26人 (100%)	25人 (96.1%)	1人 (3.8%)	0人 (0%)

(主な就職、業界等)

美容師

ヘアメイクアップアーティスト

カラーリスト

ネイリスト

アイリスト

(就職指導内容)

学外で開催される就職ガイダンスなどへの参加の促進

就職先企業を学校に招いて、就職説明会の開催

担任教員による学生との面談、就職指導やアドバイス等

就職担当職員による学生との面談、面接指導等

(主な学修成果（資格・検定等）)

美容師免許（国家試験受験資格）

ネイル技能検定

松風公認インストラクター

ボディマッサージテクニカルアーティスト

ヘアカラーマイスター

日本パーソナルカラー検定

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
51人	3人	5.8%

(中途退学の主な理由)
病気、学業不振、学校生活不適応
(中退防止・中退者支援のための取組)
日頃からの気配りや声掛けなどの強化 早めの気付きによる個別面談等の対処 休みが続く学生には、教員が家まで迎えに行く

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		美容専門課程	トップスタイルスト 専攻科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	900 単位時間	90 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	810 単位時間
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		25人	0人	16人	5人	21人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要)
授業計画書 (シラバス) の作成過程
①前年度 教科担当教員が授業の改善点を学科長、教務主任に提案 授業評価委員会 (校長、学科長、代表学生) にて各科目の改善案を討議 各々からの提案等を踏まえ、学科長が次年度の授業計画を検討
②前年度の12月までに 学科長が学科の全体科目と学科到達目標を設定し、校長が決済
③前年度の1月までに 教務主任が科目ごとの到達目標を設定し、学科長が決済
④前年度の2月までに 科目担当教員が到達目標に応じてコマシラバスを作成 ※科目の設定、授業内容の設定等については、教育課程編成委員会にて委員からの意見を反映させて決定をしている
授業計画書 (シラバス) の公表
①入学後すぐに、学生へ「学生便覧カリキュラム編」の冊子を配布 ②4月上旬に、授業計画書 (シラバス) を学校ホームページに公開
成績評価の基準・方法

(概要)

- ・年度当初に定めたシラバスに記載されている評価方法に基づいて、授業科目ごとに成績評価をしています
- ・教科担当教員がおこなった評価を基にして、教科担当教員、教務主任、学科長により成績評価をしています
- ・同じ授業科目を複数の教員が担当する場合は、教科担当教員が集まって協議をして成績評価をしています
- ・成績評価は学期ごとにおこなわれ、成績評価ができない学生には補講、補習、レポート課題などを課しています
- ・成績評価は学期ごとに成績表、履修記録に書面化し、学生本人には手渡し、保護者には郵送しています
- ・試験結果、提出課題、実習の成果、出席率など、授業科目ごとにシラバスに記載されている内容と割合により、総合的に勘案して評価をしています
- ・授業科目ごとの出席時数が授業時数の3分の2（実習科目については5分の4）に達しない者は、その科目について評価を受けることはできません
- ・授業科目ごとに、5段階（S, A, B, C, D）で評価をしています
- ・規定の時間数以上を出席し、試験等により合格（C以上）と認められた授業科目について、履修を認定しています

卒業・進級の認定基準

(概要)

- ・ディプロマポリシー
「一に人格、二に技術」の教育理念に基づき、自らを自らで磨き成長する自己マネジメント力を保有し、お客様に信頼される人格と教養を身に着けると共に、美容、ファッション分野の専門職として必要な知識、技術を有している。
そして業界を牽引するリーダーシップを身に付けている。
 1. 人間関係の基本である他者への尊敬、公正、親切、礼儀に基づく行動ができる
 2. 組織やチーム内での円滑なコミュニケーションを測りリーダーシップを發揮できる
 3. 専門業界の発展に柔軟に対応できるスキルとマーケティング力を有している
 4. 専門業界の発展のために自ら主体的に発言、行動できる積極性を身にしている
 5. 目標達成意欲を強く持ち自己の力を信じ全力で挑むチャレンジ精神を有している
- ・授業科目の成績評価に基づいて、以下の基準により課程修了の認定を行う。
①学則で定める必要な時間数を履修していること

- ②教科科目の区分ごとに、その教科科目の3分の2以上（実習を伴う教科科目は5分の4以上）出席していること
 - ③学期末試験において、すべての科目が60点以上であること
ただし、試験による評価が困難な一部の科目については履修認定の規定に沿う

・所定の修業年限以上在学し、課程を修了したと認めた者には、卒業証書を授与する。

・課程修了の認定は学校長がおこなう。

学修支援等

(概要)

- ・クラス担任制により、学生に対してきめ細かなフォローやアドバイスをおこなっている
 - ・朝練習、放課後練習、補講などの実施により、進捗度の低い学生に対してのフォローワーク体制を整えている
 - ・就職支援の専任職員により、在学中の就職活動や卒業後の進路相談などへの学生のフォローワーク体制を整えている
 - ・専門の学生カウンセラーと契約を交わして配置しており、様々な悩みを抱えている学生に対してのフォローワーク体制を整えている
 - ・キャリアデザイン教育の授業を実施して、自分の生き方を見つめ、選択して行動する自己教育力の向上をおこなっている

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
19人 (100%)	0人 (0%)	18人 (94.7%)	1人 (5.2%)
(主な就職、業界等)			

(主な就職、業界等)

美容師

ヘアメイクアップアーティスト

カラーリスト

ネイリスト

アイリスト

(就職指導内容)
学外で開催される就職ガイダンスなどへの参加の促進 就職先企業を学校に招いて、就職説明会の開催 担任教員による学生との面談、就職指導やアドバイス等 就職担当職員による学生との面談、面接指導等
(主な学修成果（資格・検定等）)
準ヘアカラー診断士 キュアリスト

中途退学の現状					
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率			
21人	2人	9.5%			
(中途退学の主な理由)					
進路変更					
(中退防止・中退者支援のための取組)					
日頃からの気配りや声掛けなどの強化 早めの気付きによる個別面談等の対処 休みが続く学生には、教員が家まで迎えに行く					

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士
衛生	美容専門課程	ヘアメイクアップアーティスト科)	開設している授業の種類		
			講義	演習	実習
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義 単位時間	演習 単位時間	実習 単位時間
3年	昼	2,905 単位時間	525 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
					2,380 単位時間
					2,010 単位時間
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
90人	20人	0人	16人	5人	21人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

(概要)

授業計画書（シラバス）の作成過程

①前年度

教科担当教員が授業の改善点を学科長、教務主任に提案

授業評価委員会（校長、学科長、代表学生）にて各科目の改善案を討議

各々からの提案等を踏まえ、学科長が次年度の授業計画を検討

②前年度の12月までに

学科長が学科の全体科目と学科到達目標を設定し、校長が決済

③前年度の1月までに

教務主任が科目ごとの到達目標を設定し、学科長が決済

④前年度の2月までに

教科担当教員が到達目標に応じてコマシラバスを作成

※科目的設定、授業内容の設定等については、教育課程編成委員会にて委員からの意見を反映させて決定をしている

授業計画書（シラバス）の公表

①入学後すぐに、学生へ「学生便覧カリキュラム編」の冊子を配布

②4月上旬に、授業計画書（シラバス）を学校ホームページに公開

成績評価の基準・方法

(概要)

- 年度当初に定めたシラバスに記載されている評価方法に基づいて、授業科目ごとに成績評価をしています
- 教科担当教員がおこなった評価を基にして、教科担当教員、教務主任、学科長により成績評価をしています
- 同じ授業科目を複数の教員が担当する場合は、教科担当教員が集まって協議をして成績評価をしています
- 成績評価は学期ごとにおこなわれ、成績評価ができない学生には補講、補習、レポート課題などを課しています
- 成績評価は学期ごとに成績表、履修記録に書面化し、学生本人には手渡し、保護者には郵送しています
- 試験結果、提出課題、実習の成果、出席率など、授業科目ごとにシラバスに記載されている内容と割合により、総合的に勘案して評価をしています
- 授業科目ごとの出席時数が授業時数の3分の2（実習科目については5分の4）に達しない者は、その科目について評価を受けることはできません
- 授業科目ごとに、5段階（S, A, B, C, D）で評価をしています
- 規定の時間数以上を出席し、試験等により合格（C以上）と認められた授業科目について、履修を認定しています

卒業・進級の認定基準

(概要)

・ディプロマポリシー

「一に人格、二に技術」の教育理念に基づき、自らを自らで磨き成長する自己マネジメント力を保有し、お客様に信頼される人格と教養を身に着けると共に、美容、ファッション分野の専門職として必要な知識、技術を有している。

そして業界を牽引するリーダーシップを身に付けています。

1. 人間関係の基本である他者への尊敬、公正、親切、礼儀に基づく行動ができる
2. 組織やチーム内での円滑なコミュニケーションを測りリーダーシップを発揮できる
3. 専門業界の発展に柔軟に対応できるスキルとマーケティング力を有している
4. 専門業界の発展のために自ら主体的に発言、行動できる積極性を身に着けている
5. 目標達成意欲を強く持ち自己の力を信じ全力で挑むチャレンジ精神を有している

・授業科目の成績評価に基づいて、以下の基準により課程修了の認定を行う。

①学則で定める必要な時間数を履修していること

②教科科目の区分ごとに、その教科科目の3分の2以上（実習を伴う教科科目は5分の4以上）出席していること

③学期末試験において、すべての科目が60点以上であること

ただし、試験による評価が困難な一部の科目については履修認定の規定に沿う

・所定の修業年限以上在学し、課程を修了したと認めた者には、卒業証書を授与する。

・課程修了の認定は校長がおこなう。

学修支援等

(概要)

・クラス担任制により、学生に対してきめ細かなフォローやアドバイスをおこなっている

・朝練習、放課後練習、補講などの実施により、進捗度の低い学生に対してのフォローオン体制を整えている

・就職支援の専任職員により、在学中の就職活動や卒業後の進路相談などへの学生のフォローオン体制を整えている

・専門の学生カウンセラーと契約を交わして配置しており、様々な悩みを抱えている学生に対してのフォローオン体制を整えている

・キャリアデザイン教育の授業を実施して、自分の生き方を見つめ、選択して行動する自己教育力の向上をおこなっている

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
美容師 ヘアメイクアップアーティスト カラーリスト ネイリスト アイリスト			
(就職指導内容)			
学外で開催される就職ガイダンスなどへの参加の促進 就職先企業を学校に招いて、就職説明会の開催 担任教員による学生との面談、就職指導やアドバイス等 就職担当職員による学生との面談、面接指導等			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
美容師免許（国家試験受験資格） ネイル技能検定 松風公認インストラクター ボディィジュエリー テクニカリリスト ヘアカラーマイスター			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
進路変更、病気、経済的理由、学校生活不適応		

(中退防止・中退者支援のための取組)

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士
衛生		マイクアップ 専門課程	マイクアップ科	○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類		
			講義	演習	実習
2年	昼	1,800 単位時間	390 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			実験 1,410 単位時間		
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数
120人		74人	0人	7人	12人
				1,800 単位時間	
生徒総定員数				総教員数	
120人				19人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

(概要)

授業計画書（シラバス）の作成過程

①前年度

教科担当教員が授業の改善点を学科長、教務主任に提案

授業評価委員会（校長、学科長、代表学生）にて各科目の改善案を討議

各々からの提案等を踏まえ、学科長が次年度の授業計画を検討

②前年度の12月までに

学科長が学科の全体科目と学科到達目標を設定し、校長が決済

③前年度の1月までに

教務主任が科目ごとの到達目標を設定し、学科長が決済

④前年度の2月までに

科目担当教員が到達目標に応じてコマシラバスを作成

※科目の設定、授業内容の設定等については、教育課程編成委員会にて委員からの意見を反映させて決定をしている

授業計画書（シラバス）の公表

①入学後すぐに、学生へ「学生便覧カリキュラム編」の冊子を配布

②4月上旬に、授業計画書（シラバス）を学校ホームページに公開

成績評価の基準・方法

(概要)

- ・年度当初に定めたシラバスに記載されている評価方法に基づいて、授業科目ごとに成績評価をしています

- 教科担当教員がおこなった評価を基にして、教科担当教員、教務主任、学科長により成績評価をしています
- 同じ授業科目を複数の教員が担当する場合は、教科担当教員が集まって協議をして成績評価をしています
- 成績評価は学期ごとにおこなわれ、成績評価ができない学生には補講、補習、レポート課題などを課しています
- 成績評価は学期ごとに成績表、履修記録に書面化し、学生本人には手渡し、保護者には郵送しています
- 試験結果、提出課題、実習の成果、出席率など、授業科目ごとにシラバスに記載されている内容と割合により、総合的に勘案して評価をしています
- 授業科目ごとの出席時数が授業時数の3分の2（実習科目については5分の4）に達しない者は、その科目について評価を受けることはできません
- 授業科目ごとに、5段階（S, A, B, C, D）で評価をしています
- 規定の時間数以上を出席し、試験等により合格（C以上）と認められた授業科目について、履修を認定しています

卒業・進級の認定基準

(概要)

- ディプロマポリシー**
 「一に人格、二に技術」の教育理念に基づき、自らを自らで磨き成長する自己マネジメント力を保有し、お客様に信頼される人格と教養を身に着けると共に、美容、ファンション分野の専門職として必要な知識、技術を有している。
 そして業界を牽引するリーダーシップを身に付けています。
 - 人間関係の基本である他者への尊敬、公正、親切、礼儀に基づく行動ができる
 - 組織やチーム内での円滑なコミュニケーションを測りリーダーシップを發揮できる
 - 専門業界の発展に柔軟に対応できるスキルとマーケティング力を有している
 - 専門業界の発展のために自ら主体的に発言、行動できる積極性を身に着けている
 - 目標達成意欲を強く持ち自己の力を信じ全力で挑むチャレンジ精神を有している
- 授業科目の成績評価に基づいて、以下の基準により課程修了の認定を行う。
 - 学則で定める必要な時間数を履修していること
 - 教科科目の区分ごとに、その教科科目の3分の2以上（実習を伴う教科科目は5分の4以上）出席していること
 - 学期末試験において、すべての科目が60点以上であること
 ただし、試験による評価が困難な一部の科目については履修認定の規定に沿う

- ・所定の修業年限以上在学し、課程を修了したと認めた者には、卒業証書を授与する。
 - ・課程修了の認定は校長がおこなう。

学修支援等

(概要)

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
37人 (100%)	0人 (0%)	35人 (94.5%)	2人 (5.4%)

(主な就職、業界等)

ビューティーアドバイザ
メイクアップアーティスト

(就職指導内容)

学外で開催される就職ガイダンスなどへの参加の促進
就職先企業を学校に招いて、就職説明会の開催
担任教員による学生との面談、就職指導やアドバイス等
就職担当職員による学生との面談、面接指導等

(主な学修成果（資格・検定等）)
スカルプチャー検定
パーソナルカラー検定
ジェルネイル技能検定
日本アロマ環境協会アロマ検定
ビューティーコーディネーター検定
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状					
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率			
84 人	4 人	4.7%			
(中途退学の主な理由)					
進路変更、学校生活不適応					
(中退防止・中退者支援のための取組)					
日頃からの気配りや声掛けなどの強化 早めの気付きによる個別面談等の対処 休みが続く学生には、教員が家まで迎えに行く					

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士
文化・教養		ファッション 専門課程	ファッション科		○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類		
				講義	演習	実習
2年	昼	1,800 単位時間	570 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	1,230 単位時間
		1,800 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80 人	64 人	0 人	8 人	10 人	18 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

授業計画書（シラバス）の作成過程

①前年度

教科担当教員が授業の改善点を学科長、教務主任に提案

授業評価委員会（校長、学科長、代表学生）にて各科目の改善案を討議

各自からの提案等を踏まえ、学科長が次年度の授業計画を検討

②前年度の12月までに

学科長が学科の全体科目と学科到達目標を設定し、校長が決済

③前年度の1月までに

教務主任が科目ごとの到達目標を設定し、学科長が決済

④前年度の2月までに

教科担当教員が到達目標に応じてコマシラバスを作成

※科目的設定、授業内容の設定等については、教育課程編成委員会にて委員からの意見を反映させて決定をしている

授業計画書（シラバス）の公表

①入学後すぐに、学生へ「学生便覧カリキュラム編」の冊子を配布

②4月上旬に、授業計画書（シラバス）を学校ホームページに公開

成績評価の基準・方法

(概要)

- ・年度当初に定めたシラバスに記載されている評価方法に基づいて、授業科目ごとに成績評価をしています
- ・教科担当教員がおこなった評価を基にして、教科担当教員、教務主任、学科長により成績評価をしています
- ・同じ授業科目を複数の教員が担当する場合は、教科担当教員が集まって協議をして成績評価をしています
- ・成績評価は学期ごとにおこなわれ、成績評価ができない学生には補講、補習、レポート課題などを課しています
- ・成績評価は学期ごとに成績表、履修記録に書面化し、学生本人には手渡し、保護者には郵送しています
- ・試験結果、提出課題、実習の成果、出席率など、授業科目ごとにシラバスに記載されている内容と割合により、総合的に勘案して評価をしています
- ・授業科目ごとの出席時数が授業時数の3分の2（実習科目については5分の4）に達しない者は、その科目について評価を受けることはできません
- ・授業科目ごとに、5段階（S, A, B, C, D）で評価をしています
- ・規定の時間数以上を出席し、試験等により合格（C以上）と認められた授業科目について、履修を認定しています

<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> • ディプロマポリシー 「一に人格、二に技術」の教育理念に基づき、自らを自らで磨き成長する自己マネジメント力を保有し、お客様に信頼される人格と教養を身に着けると共に、美容、ファッション分野の専門職として必要な知識、技術を有している。 そして業界を牽引するリーダーシップを身に付けています。
<ul style="list-style-type: none"> 1. 人間関係の基本である他者への尊敬、公正、親切、礼儀に基づく行動ができる 2. 組織やチーム内での円滑なコミュニケーションを測りリーダーシップを發揮できる 3. 専門業界の発展に柔軟に対応できるスキルとマーケティング力を有している 4. 専門業界の発展のために自ら主体的に発言、行動できる積極性を身にされている 5. 目標達成意欲を強く持ち自己の力を信じ全力で挑むチャレンジ精神を有している <ul style="list-style-type: none"> • 授業科目の成績評価に基づいて、以下の基準により課程修了の認定を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ①学則で定める必要な時間数を履修していること ②教科科目の区分ごとに、その教科科目の3分の2以上（実習を伴う教科科目は5分の4以上）出席していること ③学期末試験において、すべての科目が60点以上であること ただし、試験による評価が困難な一部の科目については履修認定の規定に沿う • 所定の修業年限以上在学し、課程を修了したと認めた者には、卒業証書を授与する。 • 課程修了の認定は校長がおこなう。

する自己教育力の向上をおこなっている

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
41人 (100%)	0人 (0%)	38人 (92.6%)	3人 (7.3%)

(主な就職、業界等)

ファッショナドバイザー
バイヤー
ショップオーナー
マーチャンダイザー
スタイリスト
プレス

(就職指導内容)

学外で開催される就職ガイダンスなどへの参加の促進
就職先企業を学校に招いて、就職説明会の開催
担任教員による学生との面談、就職指導やアドバイス等
就職担当職員による学生との面談、面接指導等

(主な学修成果（資格・検定等）)

Styling Map ファッション stylist 検定
ファッションビジネス能力検定
フォーマルスペシャリストプロンズライセンス
インターネットショップ検定

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
84人	6人	7.1%

(中途退学の主な理由)

進路変更、学校生活不適応

(中退防止・中退者支援のための取組)

日頃からの気配りや声掛けなどの強化
早めの気付きによる個別面談等の対処
休みが続く学生には、教員が家まで迎えに行く

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		ファッショントークンクリエイター科	○				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,700 単位時間	510 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	2,190 単位時間
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		61人	0人	8人	9人	17人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

(概要)

授業計画書（シラバス）の作成過程

①前年度

教科担当教員が授業の改善点を学科長、教務主任に提案
授業評価委員会（校長、学科長、代表学生）にて各科目の改善案を討議
各々からの提案等を踏まえ、学科長が次年度の授業計画を検討

②前年度の12月までに

学科長が学科の全体科目と学科到達目標を設定し、校長が決済

③前年度の1月までに

教務主任が科目ごとの到達目標を設定し、学科長が決済

④前年度の2月までに

科目担当教員が到達目標に応じてコマシラバスを作成

※科目的設定、授業内容の設定等については、教育課程編成委員会にて委員からの意見を反映させて決定をしている

授業計画書（シラバス）の公表

- ①入学後すぐに、学生へ「学生便覧カリキュラム編」の冊子を配布
- ②4月上旬に、授業計画書（シラバス）を学校ホームページに公開

成績評価の基準・方法

(概要)

- ・年度当初に定めたシラバスに記載されている評価方法に基づいて、授業科目ごとに成績評価をしています

- 教科担当教員がおこなった評価を基にして、教科担当教員、教務主任、学科長により成績評価をしています
- 同じ授業科目を複数の教員が担当する場合は、教科担当教員が集まって協議をして成績評価をしています
- 成績評価は学期ごとにおこなわれ、成績評価ができない学生には補講、補習、レポート課題などを課しています
- 成績評価は学期ごとに成績表、履修記録に書面化し、学生本人には手渡し、保護者には郵送しています
- 試験結果、提出課題、実習の成果、出席率など、授業科目ごとにシラバスに記載されている内容と割合により、総合的に勘案して評価をしています
- 授業科目ごとの出席時数が授業時数の3分の2（実習科目については5分の4）に達しない者は、その科目について評価を受けることはできません
- 授業科目ごとに、5段階（S, A, B, C, D）で評価をしています
- 規定の時間数以上を出席し、試験等により合格（C以上）と認められた授業科目について、履修を認定しています

卒業・進級の認定基準

(概要)

- ディプロマポリシー**
 「一に人格、二に技術」の教育理念に基づき、自らを自らで磨き成長する自己マネジメント力を保有し、お客様に信頼される人格と教養を身に着けると共に、美容、ファンション分野の専門職として必要な知識、技術を有している。
 そして業界を牽引するリーダーシップを身に付けています。
 - 人間関係の基本である他者への尊敬、公正、親切、礼儀に基づく行動ができる
 - 組織やチーム内での円滑なコミュニケーションを測りリーダーシップを發揮できる
 - 専門業界の発展に柔軟に対応できるスキルとマーケティング力を有している
 - 専門業界の発展のために自ら主体的に発言、行動できる積極性を身に着けている
 - 目標達成意欲を強く持ち自己の力を信じ全力で挑むチャレンジ精神を有している
- 授業科目の成績評価に基づいて、以下の基準により課程修了の認定を行う。
 - 学則で定める必要な時間数を履修していること
 - 教科科目の区分ごとに、その教科科目の3分の2以上（実習を伴う教科科目は5分の4以上）出席していること
 - 学期末試験において、すべての科目が60点以上であること
 ただし、試験による評価が困難な一部の科目については履修認定の規定に沿う

- ・所定の修業年限以上在学し、課程を修了したと認めた者には、卒業証書を授与する。
- ・課程修了の認定は校長がおこなう。

学修支援等

(概要)

- ・クラス担任制により、学生に対してきめ細かなフォローやアドバイスをおこなっている
- ・朝練習、放課後練習、補講などの実施により、進捗度の低い学生に対してのフォローワー体制を整えている
- ・就職支援の専任職員により、在学中の就職活動や卒業後の進路相談などへの学生のフォローワー体制を整えている
- ・専門の学生カウンセラーと契約を交わして配置しており、様々な悩みを抱えている学生に対してのフォローワー体制を整えている
- ・キャリアデザイン教育の授業を実施して、自分の生き方を見つめ、選択して行動する自己教育力の向上をおこなっている

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
11人 (100%)	0人 (0%)	9人 (81.8%)	2人 (18.1%)

(主な就職、業界等)

ファッションアドバイザー
パタンナー
ファッションプロデューサー

(就職指導内容)

学外で開催される就職ガイダンスなどへの参加の促進
就職先企業を学校に招いて、就職説明会の開催
担任教員による学生との面談、就職指導やアドバイス等
就職担当職員による学生との面談、面接指導等

(主な学修成果（資格・検定等）)
Styling Map ファッション stylist 検定
ファッションビジネス能力検定
フォーマルスペシャリストプロンズライセンス
インターネットショップ検定
パターンメイキング技能検定
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
50 人	7 人	14.0%
(中途退学の主な理由)		
進路変更、経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
日頃からの気配りや声掛けなどの強化 早めの気付きによる個別面談等の対処 休みが続く学生には、教員が家まで迎えに行く		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
美容科	200,000 円	600,000 円	875,000 円	施設費、教材費、総合演習費
トップスタイリスト科	200,000 円	600,000 円	1,187,500 円	施設費、教材費、総合演習費
トップスタイリスト 専攻科	0 円	600,000 円	1,185,500 円	施設費、教材費、総合演習費 ※トップスタイリスト科の上級学科の為、入学金はなし
ヘアメイクアップアート ディスト科	200,000 円	600,000 円	1,187,500 円	
メイクアップ科	200,000 円	600,000 円	895,500 円	施設費、教材費、総合演習費

ファッショングループ	200,000 円	600,000 円	783,000 円	施設費、教材費、総合演習費
クリエイター科	200,000 円	600,000 円	783,000 円	施設費、教材費、総合演習費
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://omula.com/about/information.html		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制） 在校生保護者・地域住民・関連企業・卒業生・教職員OB・OG・業界団体の方々を学校関係者委員会のメンバーに選出し、事前に学校の理念や目的、目指す学生像を説明して充分にご理解いただき、目指すべき学校像を共通認識した上でご意見をいただき、校長を実行責任者として学校運営の改善に活かしていきます。 (年度中から改善できることについては直ぐに、そうでなければ次年度から) そのために、委員会のメンバーには、自己評価の詳細はもちろんのこと、評価をする上でその他の資料が必要とされれば提供をし、学校関係者への透明性を一番大事におこなっていきます。		
<ul style="list-style-type: none"> 委員の構成（委員定数：7名以上） 各分野の企業役員、卒業生、教職員OB・OG、地域住民、学生保護者 評価項目 教育理念・目標、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生の受入れ募集、財務、法令等の遵守、社会貢献・地域貢献 		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社たんや	2024. 4. 1～2026. 3. 31	企業等役員
津田産業株式会社	2024. 4. 1～2026. 3. 31	企業等役員
(有)ダム	2024. 4. 1～2026. 3. 31	卒業生
教職員OB・OG	2024. 4. 1～2026. 3. 31	教職員OB・OG 代表
黒門東部自治会	2024. 4. 1～2026. 3. 31	地域住民
保護者	2025. 4. 1～2026. 3. 31	在校生保護者
保護者	2025. 4. 1～2026. 3. 31	在校生保護者

学校関係者評価結果の公表方法

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://omula.com/about/information.html>

第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://omula.com/>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「一」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H140313000608
学校名（○○大学等）	大村美容ファッション専門学校
設置者名（学校法人○○学園等）	学校法人 大村文化学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		133人（一）人	123人（一）人	138人（一）人
内訳	第I区分	71人	76人	
	（うち多子世帯）	（0人）	（0人）	
	第II区分	33人	24人	
	（うち多子世帯）	（0人）	（0人）	
	第III区分	21人	13人	
	（うち多子世帯）	（0人）	（0人）	
	第IV区分（理工農）	0人	0人	
	第IV区分（多子世帯）	一人	一人	
区分外（多子世帯）		0人	0人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（0）人
合計（年間）				138人（一）人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第I区分、第II区分、第III区分、第IV区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限りる。）		
		年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		0人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当)		0人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況		0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。		0人	0人	0人
計		0人	0人	0人
(備考)				

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（2）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限りる。）		
年間	0人	前半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	一人
3月以上の停学	0人
年間計	一人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	一人
訓告	0人
年間計	一人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
G P A 等が下位4分の1	0人	一人	13人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
		年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当)	0人	0人	0人	
G P A 等が下位4分の1	0人	28人	20人	
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	0人	0人	
計	0人	28人	20人	
(備考)				

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。